

「産後ケアについて」

当病院は、地域周産期母子医療センターとして安心・安全な分娩への医療を提供しています。そして、出産後退院したあとも安心して地域で子育てできるよう市町村の保健センターと連携しながら支援を行っています。

産後は、分娩の疲労や育児による睡眠不足、様々な痛みなどが影響し心身ともに不安定になりやすい時期です。初めてで慣れない育児に神経をすり減らし、疲労が蓄積し続けることもあります。2人目以降の出産の場合、自分と赤ちゃんのことの他に上の子にも気を配り関わることになります。授乳が思うように行えず悩みを抱えることもあります。また、近所付き合いも希薄化となってきた現代、地域社会から孤立しがちな中で、子育てをしていかなければならない母親の数が増えています。加えて、女性の社会進出の増加による出産年齢の高齢化、それに伴う家族の高齢化も進んでいます。このように、家族からの育児支援が困難なケースも増えてきています。

「産後ケア」とは、このような母子とその家族に対し、母親の心身を回復させて、少しずつ育児に自信を持ち健やかな育児ができるようになるための支援です。母子保健法の改正により、産後ケア事業が法制化され2021年4月より施行されました。

近年、育児不安や産後うつ病を抱える母親は増加しており、退院後の継続した支援が重要となっています。そのため、当院産科では妊娠期から退院後の育児を見据えた個別的なかかわりを行っています。そして、産後継続したサポートが必要な母子に対しては産後ケアの提供に取り組んでいます。

ゆっくり休みたい・話を聞いてほしい・育児や授乳の相談をしたい・育児の方法を一緒に見て確認してほしい等のご希望がある場合は是非、産後ケアをご利用ください。助産師が傍で寄り添いながらお手伝いさせていただきます。訪問による産後ケアの提供については、現在体制の調整を行っています。現在コロナ禍であるためご希望に沿えないこともあります。まずは一度ご相談ください。

このように当院助産師は、妊娠から産後子育てまで、切れ目のない支援を行っています。今後も全ての母子とその家族がほほえみ合い健やかに過ごせるよう、全力でサポートします。

【4階西病棟看護副師長アドバンス助産師 大川 里美】

